

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
H208	経済統計論Ⅱ	2年	講義	2	森寛史
授業概要 一国経済における総生産物の流れを産業間の取引を中心に行列形式で表現した統計表である産業連関表の見方と産業連関分析の基本について理解し、現実の経済分析を行う。 データとして国だけでなく、地元栃木県の経済・産業データもとり入れ分析することで、栃木県経済の実態についての理解と関心も深められるように工夫するつもりである。					
到達目標(学習の成果) 産業連関表を理解する前提として、行列の意味、その計算法のルールについて十分に理解することを第一の目標とする。そして更に、行列の応用としての産業連関表の基本的な見方と実際の分析の仕方をエクセルを使って身につけられるようにすることをこの授業の目標とする。また、学習を通して日本や栃木県などの経済の特徴を理解できるようにしたい。(DP3)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	社会会計とは何か、その概要	現代の社会会計の仕組みとして新SNAについて解説する(その1)。			
2	社会会計とは何か、その仕組みとSNA	現代の社会会計の仕組みとして新SNAについて解説する(その2)。			
3	社会会計とは何か、その課題	社会会計の課題について解説する。			
4	行列の考え方	産業連関表理解のため、行列の考え方について解説する。			
5	行列の計算、加・減・乗法	行列の加・減・乗法について解説する。			
6	行列の計算、逆行列	行列の逆行列等について解説する。			
7	産業連関分析の概要	産業連関表の考え方の概要を解説する。			
8	産業連関分析のオープン・モデル、投入係数について	投入係数行列の導出方法について解説する。			
9	産業連関分析のオープン・モデル、レオンチェフ逆行列の意味	レオンチェフ逆行列の導出方法について解説する。			
10	産業連関分析のオープン・モデル、具体的分析法	レオンチェフ逆行列による分析方法について解説する。			
11	産業連関分析の実際	日本の産業連関表からどのようなことが観察できるか考える。			
12	地域産業連関分析、栃木県経済の概要	これまでの分析手法の復習も兼ねて、栃木県の経済・産業データを使って県経済の理解を深める(その1)。			
13	地域産業連関分析、栃木県の公共事業の経済効果	これまでの分析手法の復習も兼ねて、栃木県の経済・産業データを使って県経済の理解を深める(その2)。			
14	復習のための演習、その1	これまでの復習並びに補足説明			
15	復習のための演習、その2	これまでの復習並びに補足説明			

準備学修(授業外の自己学修)

具体的な計算手法とパソコンの操作の仕方との関連性を的確に理解することが求められるので、計算については実際に手を動かして計算練習すること。

成績評価の方法・基準(%表記)

期末テスト80%、出席・授業態度20%

観点	S	A	B	C
行列計算の方法、エクセルでの操作方法に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
産業連関表の意味と分析法に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている

教科書

特に指定しない。

参考書等 宮沢健一『産業連関分析入門』日経文庫
中島・吉岡『実証経済分析の基礎』慶應義塾大学出版会

履修上の注意・学修支援

経済統計についての理解を深めるには、データを使って実際に読み取り、加工、検証しなければならないので、特に出席を重視する。また、必ず復習をするように心がけること。